

平成 20 年度

幼保研修の手引き



高知県教育センター

目 次

I	保育・教育	2
1	保育・教育の目的	
2	保育所・幼稚園の目標	
3	保育・教育の充実に向けて	
II	保育士・幼稚園教員研修	4
1	幼保研修の趣旨	
2	研修体系と特徴	
3	研修目的と対象者	
4	研修のねらい	
III	各年次研修	
1	新規採用保育士・幼稚園教員研修	7
	・シラバス	
	・提出物の様式及び記載例	
2	5年経験保育士・幼稚園教員研修	17
	・シラバス	
3	10年経験保育士・幼稚園教員研修	21
	・シラバス	
	・提出物の様式及び記載例	
4	15年経験保育士・幼稚園教員研修	43
	・シラバス	
IV	受講に関する事項	47
1	受講者の心得	
2	事務連絡事項	
3	欠席等の場合	
V	資料	50
1	研究計画書記載例	
2	研究レポート記載例	

I 保育・教育

保育・教育は、次代を担う子どもたちが人間として心豊かにたくましく生きる力を身に付けられるよう、生涯にわたる人間形成の基礎を培う普遍的かつ重要な役割を担っています。保育所・幼稚園では、子どもたちの豊かな人間性を培い、一人一人に応じた資質や能力を育み生きる力の基礎を身に付けることができるように、発達段階に応じた保育・教育が求められています。これら保育・教育の推進のために、第2期土佐の教育改革を踏まえて、保育・教育の充実をめざした保育士・幼稚園教員の資質・専門性の向上を図るための取り組みを進めています。

子どもが初めて出会う集団生活の多くは、保育所や幼稚園です。子どもにとっては、大切な人間関係や社会生活を学ぶ場所であり、さらに保護者にとっても子どもを介した社会との接点でもあります。

保育所や幼稚園では、一人一人の内面を理解して発達に必要な経験が積み重ねられるように、温かく見守り、適切な援助・指導を行うことが求められます。さらに、子どもの育ちを見通し、家庭や地域と連携して、小学校入学までに育てたい力を確かなものにし、小学校教育に引き継いでいく必要があります。

1 保育・教育の目的

保育・教育は、乳幼児の心身の発達に即して、一人一人の子どもが遊びを通して自発的に環境に働きかけながら、主体的に生活していく中で、望ましい発達と乳幼児期にふさわしい能力、態度の育成を目指しています。

	根拠法令・目的	機能・役割	教育・保育内容
保育所	(児童福祉法第39条) 「日日保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児又は幼児を保育すること」	保育所は保護者の就労等により保育に欠ける乳児又は幼児を保育する児童福祉施設である。	保育所保育指針
幼稚園	(学校教育法第22条) 「幼児を保育し、適切な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」	幼稚園は、満3歳から小学校就学の開始に達するまでの幼児を対象に教育を行う学校である。	幼稚園教育要領

※保育所保育指針・幼稚園教育要領は、改訂される際に双方の関係者が協議を重ね、互いの整合性を図っています。

2 保育所・幼稚園の目標

保育所の目標

子どもは豊かに伸びていく可能性をそのうちに秘めている。その子どもが、現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うことが保育の目標である。

このため、保育は次の諸事項を目指して行う。

ア 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。

イ 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。

ウ 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。

エ 自然や社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培うこと。

オ 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養うこと。

カ 様々な体験を通して、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培うこと。

(保育所保育指針抜粋)

幼稚園の目標

幼児期における教育は、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために大切なものであり、幼稚園は、幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成するよう学校教育法第23条に規定する幼稚園教育の目標の達成に努めなければならない。

- (1) 健康、安全で幸福な生活のための基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培うようにすること。
- (2) 人への愛情や信頼感を育て、自立と協同の態度及び道徳性の芽生えを培うようにすること。
- (3) 自然などの身近な事象への興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培うようにすること。
- (4) 日常生活の中で言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や言葉に対する感覚を養うようにすること。
- (5) 多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにするようにすること。

(幼稚園教育要領抜粋)

3 保育・教育の充実に向けて

「高知のこどもをどう育てるかを考える会」は第2期土佐の教育改革を踏まえて、保育・教育の充実に向けて、保育所・幼稚園を中心とした乳幼児の保育・教育を拡大していくための保育士・幼稚園教員の資質・専門性の向上や、保・幼・小・中連携教育の推進に向けた、中・長期的な見通しを持った取り組みを提言しました。県教育委員会では、「高知県幼児教育振興プログラム」を基に、「第2期高知のこどもをどう育てるかを考える会・研修プログラム検討部会」の報告を受けて、保育士・幼稚園教員の資質・専門性の向上を図るために、保育者のライフステージに応じた基本研修を柱とした体系化を行い、実施しています。

今後は、保育士・幼稚園教員がその資質・専門性を十分に発揮し、乳幼児の日々の生活や発達、学びの連続性を確かなものにし、その成果を円滑に小学校に引き継いでいくことが求められています。また、家庭・地域・関係機関と連携し、地域の教育力の向上に取り組んでいくことも求められています。

Ⅱ 保育士・幼稚園教員研修

教育センターでは、県内の保育士・幼稚園教員を対象に、保育者のライフステージに応じた研修体系に基づく「幼保研修」を実施しています。この研修は、経験年数に応じた研修内容と、学びが連続していくプログラムにより、保育士・幼稚園教員の資質・専門性の向上を図ることを目的としています。また、保育士・幼稚園教員が共に学びあい、相互理解が深められるように設定しています。

なお、研修の機会を拡大するために、経験年数で構成されている研修体系の中にもオープンに参加できる講座を設けています。

保育士・幼稚園教員は、自らの資質・専門性の向上を図るために常に研修の機会を設けることが求められます。

研修は、保育所・幼稚園において行う園内研修と園外に出かけて行う園外研修に分けられます。それぞれの成果を上げるためには、年間を通しての研修計画のもと、保育・教育に関する今日的課題等の研修を、園内・園外ともに行う必要があります。また、保育に対する姿勢や実践が適切であるかどうかの自己点検・自己評価を常に行い、自己の研修課題を明確にし、改善する必要があります。

1 幼保研修の趣旨

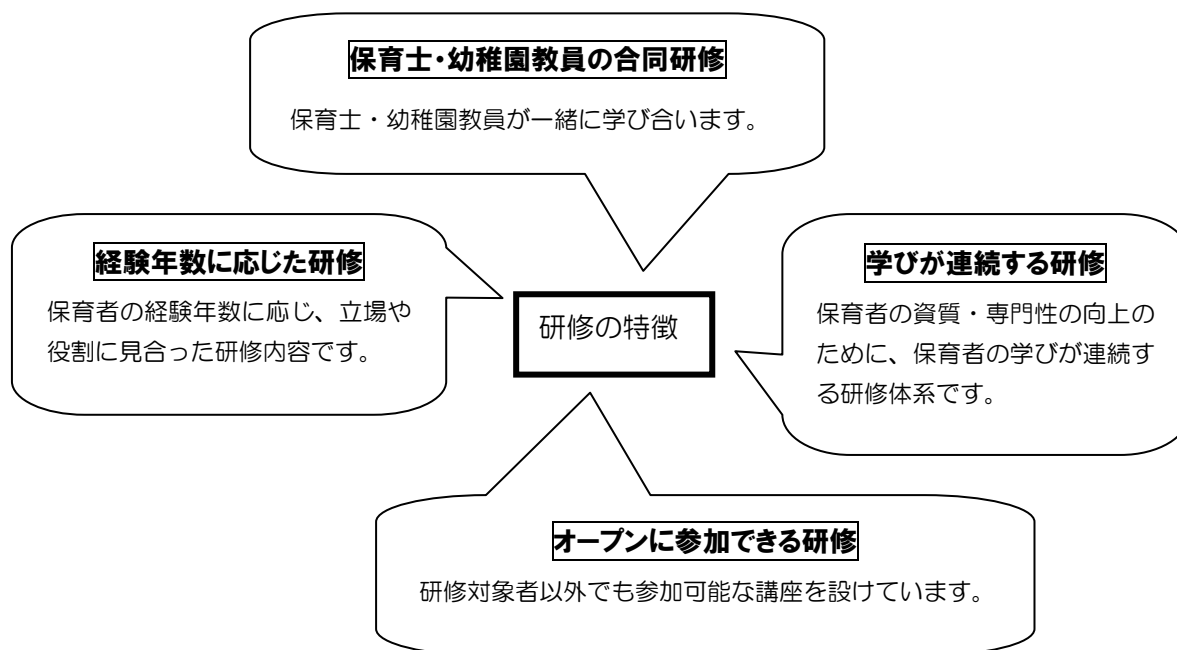
「県内どここの保育所や幼稚園でも、質の高い保育・教育を」との願いを受けて、県教育委員会では、「高知県幼児教育振興プログラム」に基づき、平成15年度から保育所・幼稚園の行政窓口の一本化を行いました。さらに、「第2期高知のこどもをどう育てるかを考える会・研修プログラム検討部会」の提言を受け、平成17年度より新規採用保育士・幼稚園教員から所長・園長までの系統だった研修体系を構築し、基本研修として位置づけました。

研修の実施にあたっては、県内の保育の実情や研修効果を考慮し、保育士・幼稚園教員が合同で研修することで相互理解を深めながら、互いの資質・専門性の向上を図ることをねらいとしています。

2 研修体系と特徴

研修体系

		基 礎	充 実	発 展	深 化
基 本 研 修	教 職 等 経 験 に 応 じ た 研 修	新規採用保育士・幼稚園教員研修	5年経験保育士・幼稚園教員研修	10年経験保育士・幼稚園教員研修	15年経験保育士・幼稚園教員研修
					主任保育士・幼稚園教頭等研修
					所長・園長研修



3 研修目的と対象者

研修名	目 的	対象者
新規採用保育士・幼稚園教員研修	新規採用保育士・幼稚園教員が職務を遂行するために必要な事項の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。	当該年度新規採用保育士・幼稚園教員
5年経験保育士・幼稚園教員研修	保育士・幼稚園教員としての専門性を高め、自己の保育課題を明確にしつつ、確かな学級経営のもとに保育実践ができる資質・専門性の向上を図る。	この研修を実施する前年度に在職期間が4年以上9年未満となる保育士・幼稚園教員
10年経験保育士・幼稚園教員研修	保育士・幼稚園教員としての専門性や保育観を高め、実践的指導力を確立するとともに、学年経営を視野に入れて保育実践に取り組むことのできる資質・専門性の向上を図る。	この研修を実施する前年度に在職期間が9年となる保育士・幼稚園教員（所長・園長、主任等の職にある者を除く）
15年経験保育士・幼稚園教員研修	保育士・幼稚園教員としての専門性やリーダー性を高め、全園的な視野に立ち指導的立場で園経営に参画できる資質・専門性の育成を図る。	この研修を実施する前年度に在職期間が14年となる保育士・幼稚園教員（所長・園長、主任等の職にある者を除く）
主任保育士・幼稚園教頭等研修	園管理運営者としての自覚を高め、保育・教育目標の実現に向けた企画力・指導力等の経営的資質の向上を図る。	保育所の主任保育士、幼稚園の主任・教頭等及び所長・園長が推薦した者
所長・園長研修	園管理運営の責任者として、人材の育成や組織の改善、地域を含めた広い視野に立った園経営能力の充実を図る。	保育所の所長、幼稚園の園長及び所長・園長が推薦した者

公立幼稚園の教員は、教育公務員特例法第23条の規定に基づく「新規採用保育士・幼稚園教員研修」及び教育公務員特例法第24条の規定に基づく「10年経験保育士・幼稚園教員研修」については悉皆研修となっています。

4 研修のねらい

研修名	年次毎のねらい	経営的資質	教育・福祉法規等	保育指導	障害児保育・乳児保育	豊かな心を育む保育	
						道徳性の芽生え	人権教育
新規採用保育士・幼稚園教員研修	新規採用保育士・幼稚園教員が職務を遂行するために必要な事項の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。	クラス運営の基礎的・基本的事項の理解を図り、実践力を育成する。	教育・福祉法規や学級の管理に関する基本的知識の理解を図る。	保育実践上の基礎的・基本的事項の理解を図り、指導力を育成する。	障害児保育・乳児保育についての基礎的・基本的事項の理解を図り、指導力を育成する。	道徳性についての基礎的・基本的事項の理解を図り、基本的な指導力を育成する。	人権や人権問題に対するすぐれた感覚を養い、認識を深め、人権教育に対する基礎的理解を図るとともに、保育実践力を養う。
5年経験保育士・幼稚園教員研修	保育士・幼稚園教員としての専門性を高め、自己の保育課題を明確にしつつ、確かな学級経営のもとに保育実践ができる資質・専門性の向上を図る。	クラス運営の充実に向け、実践的指導力の向上を図る。	教育・福祉法規の理解や学級の管理に関する指導力の向上を図る。	保育課題や指導法の理解を深め、自己の保育実践力を高める。	学級経営との関わりにおける障害児保育・乳児保育の在り方についての理解を図り、実践的指導力を育成する。	道徳性の芽生えについての理解を深めるとともに、学級において道徳性の芽生えを推進できる実践的な指導力を育成する。	人権教育の視点に立ち、一人一人の子どもの理解や保護者・地域との連携をふまえ、保育実践力の向上を図る。
10年経験保育士・幼稚園教員研修	保育士・幼稚園教員としての専門性や保育観を高め、実践的指導力を確立するとともに、学年経営を視野に入れて保育実践に取り組むことのできる資質・専門性の向上を図る。	学年経営を視野に入れた経営的資質の育成を図る。	教育・福祉法規の理解を深めるとともに、学年経営を視野に入れた管理に関する指導力の育成を図る。	保育実践力を高めるとともに、園における保育改善の推進者としての力量を高める。	学年経営を視野に入れて障害児保育・乳児保育を推進できる資質の向上を図る。	学年経営を視野に入れた道徳性の芽生えの推進に中核的役割を果たせる実践力を育成する。	保育活動全体を通じて人権教育を推進するための企画・実践力を高める。
15年経験保育士・幼稚園教員研修	保育士・幼稚園教員としての専門性やリーダー性を高め、全園的な視野に立ち指導的立場で園経営に参画できる資質・専門性の育成を図る。	学年経営を視野に入れた経営的資質を充実する。	教育・福祉法規の理解を深めるとともに、全園を視野に入れた管理に関する指導力の育成を図る。	研究・実践の企画・推進についての先導的役割を自覚させ、全園的な保育改善及び実践力の向上を図る資質を育成する。	全園的な視点で障害児保育・乳児保育を捉え、保育実践及び研究推進できる資質を育成する。	学年経営の視点を踏まえて、全園的な視野から道徳性の芽生えの推進に指導的役割を果たすことができる指導力を育成する。	人権教育の視点から保育活動全体を捉えるとともに、人権教育に関して園における指導的役割を果たすことのできる資質・専門性を育成する。
主任保育士・幼稚園教頭等研修	園管理運営者としての自覚を高め、保育・教育目標の実現に向けた企画力・指導力等の経営的資質の向上を図る。	園内外の課題を把握し、園長を補佐して効果的な園経営を推進する能力を育成する。	園運営に関する教育・福祉法規を的確に理解し、危機対応も含めた園内管理体制の課題を把握し、適切な対応ができる指導力の向上を図る。	園保育目標実現に向け、保育改善を推進するなど、経営的資質の向上を図る。	障害児保育・乳児保育の今日的課題について理解を深め、障害児保育・乳児保育実践の総括的推進者としての資質の向上を図る。	園における道徳性の芽生えの推進についての企画・指導力を高めるとともに、保育者に適切な指導・助言ができる資質・専門性の向上を図る。	人権教育をめぐる情勢を認識するとともに、人権教育の視点から保育活動全体を捉えた企画力・指導力を高め、園管理運営者としての資質の向上を図る。
所長・園長研修	園管理運営の責任者として、人材の育成や組織の改善、地域を含めた広い視野に立った園経営能力の充実を図る。	地域や園をとりまく状況を把握し、園内外の人材を適切に生かした園経営を行う等の経営能力の充実を図る。	園運営に関する判例等、教育・福祉法規への理解を深め、園管理責任者として適切な危機対応ができる指導力の充実を図る。	保育指導状況把握のもと、園保育目標の設定や保育改善に向けての園内体制の整備等を適切に行う経営能力を高める。	障害児保育・乳児保育推進のため、明確な経営方針のもと園内体制の整備等を行うことのできる資質・専門性の充実を図る。	園経営の責任者として、保育活動全体を捉えた道徳性の芽生えの推進について、適切に指導・助言できる資質・専門性の充実を図る。	人権教育をめぐる情勢への認識を深めるとともに、人権教育の視点から保育活動全体を捉え、園経営の責任者としての資質・専門性の充実を図る。

Ⅲ 各年次研修

1 新規採用保育士・幼稚園教員研修

新規採用保育士・幼稚園教員研修のイメージ

《公立幼稚園》《保育所、国・私立幼稚園》	研修対象者の調査・受講者の決定	3月～4月
○ 研修対象者の調査 ○ 受講者の決定（研修効果、園運営への影響等考慮）		

《公立幼稚園》	年間指導計画書（所属長・教育委員会）	4月
○ 年間指導計画書（第1号様式）の作成・提出 ※所属長→市町村教育委員会→教育センター		

《公立幼稚園》 園外研修： 教育センター研修（10日）		5月～2月
《保育所、国・私立幼稚園》		
経営的資質	○ 新規採用保育士・幼稚園教員に求められるもの ○ コミュニケーションの基本 ○ 乳幼児の引率のあり方 ○ 危機管理	
教育・福祉法規等	○ 保育の動向と課題	
保育指導	○ 保育所保育指針・幼稚園教育要領 ○ 保育の計画 ○ 日案・週案 ○ 子どもと親との教育相談—カウンセリングマインドの手法を生かして— ○ 公開保育、分科会 ○ 幼児理解と保育者の援助（幼稚園教育映画視聴） ○ 絵本の果たす役割 ○ 身体を使った遊び ○ 保育所・幼稚園で行う自然遊び ○ 教材づくり—造形遊び— ○ 音で楽しもう ○ 子育て・家庭支援 ○ 研究の成果と課題 ○ 【共通研修】連携教育	
障害児保育 乳児保育	○ 特別な配慮を要する子ども ○ 乳児保育	
豊かな心を育む保育	○ 幼児期からの人権教育	

研究計画書提出
（8月）
研究レポート提出
（12月～1月）

《公立幼稚園》
所属長→市町村
教育委員会→教
育センター

《保育所、国・
私立幼稚園》
所属長→教育セ
ンター

《公立幼稚園》	園内研修（10日）	6月～2月
■ 新任教員が職務遂行のための必要事項を習得できるように、効果的な研修を在籍園等で実施 ○ 研修計画に基づき、非常勤指導教員の指導、助言による園内研修を実施する。		

《公立幼稚園》	年間指導報告書（所属長・教育委員会）	年度末
○ 年間指導報告書（第2号様式）を作成・提出 ※所属長→市町村教育委員会→教育センター		

研修名	平成 2 0 年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 1 期																											
講座名・目的	〔保育の動向と課題〕 【オープン講座】 ・教育・福祉法規や保育を取り巻く国、県の状況の理解を図る。 〔保育所保育指針・幼稚園教育要領〕 【オープン講座】 ・保育所保育指針・幼稚園教育要領について理解を深め、保育実践の指導力を育成する。 〔幼児期からの人権教育〕 ・人権や人権問題に対するすぐれた感覚を養い、人権教育に対する基礎的理解を図るとともに、実践的指導力を養う。 〔研究について〕 ・幼児理解と評価の基礎的手法について理解を深め、保育実践の指導力を育成する。																											
研修期日・会場・日程	<table><tr><td colspan="2">期日：5月20日（火）</td><td colspan="2">会場：高知県教育センター本館</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td colspan="2">9:30</td><td colspan="2">12:00 13:00</td><td colspan="3">17:00</td></tr><tr><td>受付</td><td>オリエンテーション</td><td>《講義》 オープン① 保育の動向と課題</td><td>《講義》 オープン② 保育所保育指針・幼稚園教育要領</td><td>昼食</td><td>《講義・演習》 幼児期からの人権教育</td><td>《講義》 研究について</td></tr></table>							期日：5月20日（火）		会場：高知県教育センター本館					9:30		12:00 13:00		17:00			受付	オリエンテーション	《講義》 オープン① 保育の動向と課題	《講義》 オープン② 保育所保育指針・幼稚園教育要領	昼食	《講義・演習》 幼児期からの人権教育	《講義》 研究について
期日：5月20日（火）		会場：高知県教育センター本館																										
9:30		12:00 13:00		17:00																								
受付	オリエンテーション	《講義》 オープン① 保育の動向と課題	《講義》 オープン② 保育所保育指針・幼稚園教育要領	昼食	《講義・演習》 幼児期からの人権教育	《講義》 研究について																						
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・幼稚園教育指導資料第1集「指導計画の作成と保育の展開」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第2集「家庭との連携を図るために」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第3集「幼児理解と評価」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第4集「一人一人に応じるために」 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省 ・人権教育指導資料集（幼児教育編）「輝く えがお と」 高知県教育委員会																											
研修概要	・保育における国・県の取り組み、保育を取り巻く状況についての講義を行う。 ・保育士・幼稚園教員にとって不可欠な基本的事項である保育所・幼稚園の目標、保育所保育指針と幼稚園教育要領との関連についての講義を行う。 ・人権や人権問題に対するすぐれた感覚を養い、保育士・幼稚園教員としての人権教育の基礎的・基本的事項の理解、道徳性の芽生えについての講義・演習を行う。 ・研究の基礎的手法を学び、研究を通して保育の実践的指導力を育成するための講義を行う。																											

研修名	平成20年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 2期				
講座名・目的	[新規採用保育士・幼稚園教員に求められるもの]【オープン講座】 ・クラス運営の基礎的・基本的事項の理解を図り、実践力を育成する。 [子育て家庭支援の実践発表] 【オープン講座】 ・子育て・家庭支援の実践を基に自らの課題解決の方向性をさぐる。 [子育て・家庭支援]【オープン講座】 ・子育て・家庭支援の実情を学び、保育実践の指導力を育成する。				
研修期日・会場・日程	期日：7月25日（金） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 17:00				
	受 付	《講義・研究協議》 新規採用保育士・幼稚園教員に 求められるもの	昼 食	《実践発表》 【オープン④】 子育て・家庭支援	《講義・研究協議》 【オープン⑤】 子育て・家庭支援
持参物	・研究計画書案 2部 ・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・幼稚園教育指導資料第2集「家庭との連携を図るために」 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省				
研修概要	・保育者の重要性や子どもに与える影響など、基本的な幼児理解について講義・研究協議を行う。 ・子育て支援の実践について実践発表を受け、又基礎的理解を図るために、保育所・幼稚園及び子育て支援センターの役割や活動状況等、援助の実践についての講義・研究協議を行う。				

研修名	平成 2 0 年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 3 期																			
講座名・目的	[保育所・幼稚園で行う自然遊び] ・自然遊びの基礎的・基本的手法について、保育実践の指導力を育成する。 [乳幼児の引率のあり方] ・引率の基礎的・基本的事項の理解を図り、指導力を育成する。																			
研修期日・会場・日程	<table><tr><td colspan="2">期日：7 月 2 8 日（月）</td><td colspan="2">会場：高知県立高知青少年の家</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">9:30</td><td colspan="2">12:00 13:00</td><td>17:00</td></tr><tr><td>受 付</td><td colspan="2">《講義・演習》 保育所・幼稚園で行う自然遊び</td><td>昼 食</td><td>《講義・研究協議》 乳幼児の引率のあり方</td></tr></table>					期日：7 月 2 8 日（月）		会場：高知県立高知青少年の家			9:30		12:00 13:00		17:00	受 付	《講義・演習》 保育所・幼稚園で行う自然遊び		昼 食	《講義・研究協議》 乳幼児の引率のあり方
期日：7 月 2 8 日（月）		会場：高知県立高知青少年の家																		
9:30		12:00 13:00		17:00																
受 付	《講義・演習》 保育所・幼稚園で行う自然遊び		昼 食	《講義・研究協議》 乳幼児の引率のあり方																
持参物	・屋外などで動きやすい服装、上履き、運動靴 ・幼稚園教育要領解説（平成 11 年） 文部省 ・保育所保育指針（平成 11 年） 厚生省																			
研修概要	・自然遊びの基礎的・基本的な手法について講義・演習を行う。 ・乳幼児の引率の基礎的・基本的事項について講義・研究協議を行う。																			

研修名	平成20年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 4期		
講座名・目的	[教材作りー造形遊び] ・造形遊びの基礎的・基本的手法について、保育実践の指導力を育成する。 [身体を使った遊び] ・身体を使った遊びの基礎的・基本的手法について、保育実践の指導力を育成する。		
研修期日・会場・日程	期日：8月1日（金） 会場：高知県教育センター分館 9:30 12:30 13:30 17:00		
	受 付	《講義・演習》 教材作りー造形遊びー	昼 食
		《講義・演習》 身体を使った遊び	
持参物	・屋内などで動きやすい服装、室内用運動靴		
研修概要	・造形遊びの基礎的・基本的な手法について講義・演習を行う。 ・身体を使った遊びの基礎的・基本的な手法について講義・演習を行う。		

研修名	平成20年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 5期		
講座名・目的	[連携教育] ・連携教育の基礎的・基本的理解を深め、保育実践の指導力を育成する。 [絵本の果たす役割] ・絵本の果たす役割について、基礎的・基本的理解を図り、保育実践の指導力を育成する。		
研修期日・会場・日程	期日：8月11日（月） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:30 13:30 17:00		
	受 付	《講義》 キャリア教育 ー保幼小中高特の連携についてー	昼 食
		《講義・演習》 絵本の果たす役割	
	※公立小学校及び中学校並びに県立学校初任者研修と合同開催（午前中）		
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省 ・クラスで好まれている絵本（2冊）		
研修概要	・連携教育の基礎的・基本的事項の理解を深め、保育実践の指導力を養うための研究協議を行う。 ・絵本の読み聞かせについての基礎的・基本的な手法について、講義・演習を行う。		

研修名	平成20年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 6期																
講座名・目的	〔保育所・幼稚園における危機管理〕 ・危機管理について基礎的・基本的事項の理解を図る。 〔乳児保育〕 ・乳児保育について基礎的・基本的事項の理解を図り、指導力を育成する。 〔研究計画書について〕 ・研究計画書案をもとに研究協議を通して、クラス運営の基礎的・基本的事項の理解を図り、実践力を育成する。 〔コミュニケーションの基本〕 ・クラス運営のために必要なコミュニケーションの基礎的理解を図り、実践力を育成する。																
研修期日・会場・日程	期日：8月15日（金） 会場：高知県教育センター本館 <table border="1"> <tr> <td></td><td>9:30</td><td></td><td>12:30</td><td>13:30</td><td>17:00</td></tr> <tr> <td>受付</td><td>《講義・研究協議》 保育所・幼稚園における危機管理</td><td>《講義》 乳児保育</td><td>《研究協議》 研究計画書について</td><td>昼食</td><td>《講義・演習》 オープン⑥ コミュニケーションの基本</td></tr> </table>						9:30		12:30	13:30	17:00	受付	《講義・研究協議》 保育所・幼稚園における危機管理	《講義》 乳児保育	《研究協議》 研究計画書について	昼食	《講義・演習》 オープン⑥ コミュニケーションの基本
	9:30		12:30	13:30	17:00												
受付	《講義・研究協議》 保育所・幼稚園における危機管理	《講義》 乳児保育	《研究協議》 研究計画書について	昼食	《講義・演習》 オープン⑥ コミュニケーションの基本												
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省 ・研究計画書案																
研修概要	・保育所・幼稚園における危機管理の基礎的・基本的事項について講義・研究協議を行う。 ・乳児保育の基礎的・基本的事項について講義を行う。 ・保育者の重要性や子どもに与える影響など、基本的な幼児理解について研究計画書をもとに研究協議を行う。 ・園やクラス運営における様々な場面に生かすコミュニケーションの基礎的・基本的事項についての講義を行う。																

研修名	平成 2 0 年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 7 期																											
講座名・目的	〔幼児理解と保育者の援助（幼稚園教育映画視聴）〕 ・保育実践に生かす保育者の援助の基礎的手法を学び、保育実践の指導力を育成する。 〔保育の計画〕【オープン講座】 ・保育の計画について理解を深め、保育実践の指導力を育成する。																											
研修期日・会場・日程	<table><tr><td colspan="2">期日：8 月 2 2 日（金）</td><td colspan="3">会場：高知県教育センター本館</td></tr><tr><td colspan="2">9:30</td><td colspan="2">12:00</td><td>13:00</td><td>17:00</td></tr><tr><td>受</td><td colspan="2">《講義・演習》 幼児理解と保育者の援助 （幼稚園教育映画視聴）</td><td>昼</td><td colspan="2">《講義・研究協議》</td></tr><tr><td>付</td><td colspan="2"></td><td>食</td><td colspan="2">保育の計画</td></tr></table>					期日：8 月 2 2 日（金）		会場：高知県教育センター本館			9:30		12:00		13:00	17:00	受	《講義・演習》 幼児理解と保育者の援助 （幼稚園教育映画視聴）		昼	《講義・研究協議》		付			食	保育の計画	
期日：8 月 2 2 日（金）		会場：高知県教育センター本館																										
9:30		12:00		13:00	17:00																							
受	《講義・演習》 幼児理解と保育者の援助 （幼稚園教育映画視聴）		昼	《講義・研究協議》																								
付			食	保育の計画																								
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成 11 年） 文部省 ・保育所保育指針（平成 11 年） 厚生省 ・園で使っている日案・週案等																											
研修概要	・幼稚園教育映画を視聴して、保育者の援助の基礎的な手法について講義・演習を行う。 ・保育所保育指針と幼稚園教育要領と関連づけた保育の計画や日案・週案作成のポイントについて講義・研究協議を行う。																											

研修名	平成 2 0 年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 8 期															
講座名・目的	〔子どもと親との教育相談—カウンセリングマインドの手法を生かして—〕 ・保育相談に生かすカンファレンスの基礎的手法について、保育実践の指導力を育成する。 〔特別な配慮を要する子ども〕【オープン講座】 ・障害児保育についての基礎的・基本的事項の理解を図り、指導力を育成する															
研修期日・会場・日程	<table><tr><td>期日：1 0 月 2 8 日（火）</td><td colspan="2">会場：高知県教育センター本館</td><td></td></tr><tr><td>9:30</td><td>12:00</td><td>13:00</td><td>17:00</td></tr><tr><td>受付</td><td>《講義・演習》 子どもと親との教育相談—カウンセリングマインドを生かして—</td><td>昼食</td><td>《講義・研究協議》<u>オープン⑧</u> 特別な配慮を要する子ども</td></tr></table>				期日：1 0 月 2 8 日（火）	会場：高知県教育センター本館			9:30	12:00	13:00	17:00	受付	《講義・演習》 子どもと親との教育相談—カウンセリングマインドを生かして—	昼食	《講義・研究協議》 <u>オープン⑧</u> 特別な配慮を要する子ども
期日：1 0 月 2 8 日（火）	会場：高知県教育センター本館															
9:30	12:00	13:00	17:00													
受付	《講義・演習》 子どもと親との教育相談—カウンセリングマインドを生かして—	昼食	《講義・研究協議》 <u>オープン⑧</u> 特別な配慮を要する子ども													
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成 11 年） 文部省 ・保育所保育指針（平成 11 年） 厚生省															
研修概要	・子どもと親との教育相談について実践力を養うために講義・演習を行う。 ・特別な配慮を必要とする子どもたちの理解と支援について、講義・研究協議を行う。															

研修名	平成20年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 9期								
講座名・目的	〔公開保育〕〔分科会〕 ・援助の基礎的手法を学び、保育実践の指導力を育成する。 〔日案、週案〕 ・日、週案について理解を深め、保育実践の指導力を育成する。								
研修期日・会場・日程	期日：11月5日（水） 会場：いの町立天神保育園 9:30 12:00 13:00 17:00 <table border="1"> <tr> <td>受付</td><td>開会 《公開保育》</td><td>昼食</td><td>《研究協議》 日案、週案</td><td>《分科会》</td></tr> </table>				受付	開会 《公開保育》	昼食	《研究協議》 日案、週案	《分科会》
受付	開会 《公開保育》	昼食	《研究協議》 日案、週案	《分科会》					
持参物	・屋内外などで動きやすい服装、上履き、運動靴 ・上履き、靴を入れるビニール等の袋 ・指導案（必ず考察をつけた、園内研修などで行った日案または週案など） ・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・幼稚園教育指導資料第1集「指導計画の作成と保育の展開」 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省								
研修概要	・援助の基礎的な手法を学ぶために公開保育参観を行い、分科会をもち話し合う。 ・保育所保育指針と幼稚園教育要領をふまえ、保育計画（日案・週案）の作成ポイントについて、研究協議を行う。								

研修名	平成 20 年度 新規採用保育士・幼稚園教員研修 10 期			
講座名・目的	〔音で楽しもう〕 ・音楽遊びの基礎的・基本的手法について、保育実践の指導力を育成する。 〔研究の成果と課題〕 ・幼児理解と評価の基礎的・基本的手法について、保育実践の指導力を育成する。			
研修期日・会場・日程	期日：2月5日（木） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 17:00			
	受付	《講義・演習》 音で楽しもう	昼食	《実践報告・研究協議》 研究の成果と課題 閉会式
持参物	・屋内などで動きやすい服装、運動靴 ・研究レポート・関係資料等 ・幼稚園教育要領解説（平成 11 年） 文部省 ・保育所保育指針（平成 11 年） 厚生省			
研修概要	・音楽リズムの基礎的な手法について講義・演習を行う。 ・保育実践の指導力を養うために、研究レポート等を通して幼児理解と評価について、実践報告・研究協議を行う。			

(第1号様式) 記載例

平成20年度新規採用保育士・幼稚園教員研修（園内研修）年間指導計画書

〇〇町立〇〇幼稚園 園長 印

1 研修対象 幼稚園教員

氏 名	担当学年・学級
高知 花子	〇歳児・〇〇組

2 研修の重点目標

- (1) 幼稚園教育の理解と意義
- (2) 幼稚園教育目標の達成と指導援助

3 非常勤指導教員の指導による研修内容の計画（10日間）

月 日	研 修 内 容	時間	備考
6月20日（金）	・幼稚園の教育目標、方針の理解 ・幼稚園教育の果たす役割	4	
7月18日（金）	・指導計画の意義と計画の立て方 （教育課程・週・日案の作成の方法）	6	
8月 8日（金）	・学級経営の進め方 ・体験的研修（飼育、栽培をとおして）	4	
8月21日（木）	・保育の実際（環境構成の考え方と実際） ・記録の取り方と活用の仕方	6	
9月 5日（金）	・家庭との連携の仕方 ・保育相談（幼児理解と指導の実際）	6	
10月17日（金）	・保育の実際（行事の考え方と実際） ・遊びや生活の仕方の指導と実際	4	
11月 7日（金）	・保育の実際（指導の実際） ・地域の理解と活用	6	
12月12日（金）	・保育の実際（園具、教具等の工夫） ・健康管理と指導	4	
1月 9日（金）	・保育の展開と反省と評価 ・保育相談（幼児理解と指導の実際）	6	
2月20日（金）	・評価の考え方と指導要録の記入の実際 ・一年間のまとめ	4	

合計	50
----	----

- ※ 上記の3に関して、非常勤指導教員による指導時間は、合計が50時間をこえないようにすること
- ※ 上記以外に、新規採用教員が職務を遂行するに当たって、必要な事項の研修は園が実施すること
- ※ A4縦長 横書き（新規採用教員ごとに作成すること）

(第2号様式) 記載例

平成20年度新規採用保育士・幼稚園教員研修（園内研修）年間指導報告書

〇〇町立〇〇幼稚園

園長 印

新規採用教員名 高知 花子

非常勤指導教員名 土佐 太郎

月 日	非常勤指導教員の指導による研修内容	時間	備考
6月20日（金）	・幼稚園の教育目標、方針の理解 ・幼稚園教育の果たす役割	4	
7月18日（金）	・指導計画の意義と計画の立て方 （教育課程・週・日案の作成の方法）	6	
8月 8日（金）	・学級経営の進め方 ・体験的研修（飼育、栽培をとおして）	4	
8月21日（木）	・家庭との連携の仕方 ・保育相談（幼児理解と指導の実際）	6	内容を下記と変更して実施
9月 5日（金）	・保育の実際（環境構成の考え方と実際） ・記録の取り方と活用の仕方	6	内容を上記と変更して実施
10月17日（金）	・保育の実際（行事の考え方と実際） ・遊びや生活の仕方と指導の実際	4	
11月 7日（金）	・保育の実際（指導の実際） ・地域の理解と活用	6	
12月12日（金）	・保育の実際（園具、教具等の工夫） ・健康管理と指導	4	
1月 9日（金）	・保育の展開と反省と評価 ・保育相談（幼児理解と指導の実際）	6	園の都合により日程を変更して実施
2月20日（金）	・評価の考え方と指導要録の記入の実際 ・一年間のまとめ	4	
合 計		50	

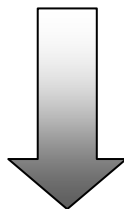
※ 非常勤指導教員による指導時間は、合計が50時間をこえないようにすること

※ A4縦長 横書き（新規採用教員ごとに作成すること）

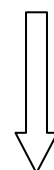
2 5年経験保育士・幼稚園教員研修

5年経験保育士・幼稚園教員研修のイメージ

研修対象者の調査・受講者の決定	3月～4月
○ 研修対象者の調査 ○ 受講者の決定（研修効果、園運営への影響等考慮）	



教育センター研修（3日）		6月～1月
経営的資質	○ 5年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの 等	
教育・福祉法規	○ 5年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの	
保育指導	○ 乳幼児理解と保育計画・実践記録及び記録の方法 ○ カウンセリングマインドを生かした保育 ○ 子育て・家庭支援 ○ 研究の成果と課題	
豊かな心を育む保育	○ 幼児期からの人権教育	



研究計画書提出
（8月）

研究レポート提出
（12月～1月）

《公立幼稚園》

所属長→市町村
教育委員会→教
育センター

《保育所、国・私 立幼稚園》

所属長→教育セ
ンター

研修名	平成20年度 5年経験保育士・幼稚園教員研修 1期				
講座名・目的	〔5年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの〕 【オープン講座】 ・クラス運営の充実に向け、実践的指導力の向上を図る。 〔乳幼児理解と保育計画・実践及び記録の方法〕 【オープン講座】 ・保育計画について課題と指導法の理解を深め、実践的指導力の向上を図る。				
研修期日・会場・日程	期日：6月6日（金） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 17:00				
	受 付	オリ エン テー ショ ン	《講義・研究協議》 5年経験保育士・幼稚園教員に 求められるもの	昼 食	《講義・演習》 乳幼児理解と保育計画・実践及び記録 の方法
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・幼稚園教育指導資料第1集「指導計画の作成と保育の展開」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第2集「家庭との連携を図るために」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第3集「幼児理解と評価」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第4集「一人一人に応じるために」 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省				
研修概要	・クラス運営の充実に向け、5年経験保育者に備わるべき実践的指導力についての講義・研究協議を行う。 ・乳幼児の実情に応じた保育計画の作成、保育実践記録のあり方の講義を行う。				

研修名	平成20年度 5年経験保育士・幼稚園教員研修 2期				
講座名・目的	〔子育て家庭支援の実践発表〕 【オープン講座】 ・子育て・家庭支援の実践を基に自らの課題解決の方向性をさぐる。 〔子育て家庭支援〕 【オープン講座】 ・子育て家庭支援について理解を深め、保育実践の指導力の向上を図る。 〔幼児期からの人権教育〕 ・人権教育の視点に立ち、一人一人の子どもの理解や保護者・地域との連携をふまえた、保育実践力の向上を図る。				
研修期日・会場・日程	期日：9月9日（火） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:30 13:30 14:30 17:00				
	受 付	《実践発表》 オープン③ 保育所の子育て・ 家庭支援	《講義》 子育て・家庭支援	昼 食	《研究協議》 研究計画書 について 《講義・演習》 幼児期からの 人権教育
持参物	・研究計画書写し ・幼稚園教育指導資料第2集「家庭との連携を図るために」 文部省 ・人権教育指導資料集（幼児教育編）「輝く えがお と」 高知県教育委員会				
研修概要	・子育て・家庭支援について理解し、実践的指導力を育成するための講義を行う。 ・子育て・家庭支援の実践について実践発表を受け、家庭支援の課題について考える。 ・人権教育をめぐる状況と、乳幼児期の保育と人権教育についての講義・演習を行う。				

研修名	平成20年度 5年経験保育士・幼稚園教員研修 3期																		
講座名・目的	[カウンセリングマインドを生かした保育] 【オープン講座】 ・保育カンファレンスの手法について、保育実践の指導力の向上を図る。 [研究の成果と課題] ・幼児理解と評価の基礎的・基本的手法について、保育実践の指導力を高める。																		
研修期日・会場・日程	期日：1月23日（金） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 17:00 <table border="1"> <tr> <td>受</td><td>《講義・演習》<u>オープン⑤</u></td><td>昼</td><td>《実践報告・研究協議》</td><td>閉</td></tr> <tr> <td>付</td><td>カウンセリングマインドを生かした保育</td><td>食</td><td>研究の成果と課題</td><td>会</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>式</td></tr> </table>				受	《講義・演習》 <u>オープン⑤</u>	昼	《実践報告・研究協議》	閉	付	カウンセリングマインドを生かした保育	食	研究の成果と課題	会					式
受	《講義・演習》 <u>オープン⑤</u>	昼	《実践報告・研究協議》	閉															
付	カウンセリングマインドを生かした保育	食	研究の成果と課題	会															
				式															
持参物	・研究レポート・関係資料等 ・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省																		
研修概要	・保育カンファレンスのポイント・ロールプレイによる保育カンファレンスの手法について講義を行う。 ・保育実践の指導力を養うために、研究レポート等を通して幼児理解と評価の基礎的手法を学び、実践報告・協議を行う。																		

3 10年経験保育士・幼稚園教員研修

10年経験保育士・幼稚園教員研修のイメージ

《公立幼稚園》《保育所、国・私立幼稚園》	研修対象者の調査・受講者の決定	3月～4月
○ 研修対象者の調査 ○ 受講者の決定（研修効果、園運営への影響等考慮）		



《公立幼稚園》 《保育所、国・私立幼稚園》	受講者の評価及び研修計画書の作成（所属長・教育委員会）	4月・5月
○ 評価票（様式第1号）の作成・提出 ○ 研修計画書（様式第2号）の作成・提出・決定 ※所属長→市町村教育委員会→教育センター《公立幼稚園》 ※所属長→教育センター《保育所、国・私立幼稚園》		



《公立幼稚園》園外研修： 教育センター等研修（10日、主に夏季休業中） 《保育所、国・私立幼稚園》		
共通研修 （1日）	○ 広い視野の育成、特別支援教育	8月
保育専門 等研修 （6日）	【少人数指導】 ○ 教育・福祉法規・服務、情報倫理、人権教育 ○ オリエンテーション、10年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの ○ 子育て・家庭支援、園経営、 ○ 幼児理解、道徳性の芽生えを培う保育 ○ 幼児理解、カウンセリングマインドを生かした保育 ○ 受講者の課題に応じた研修	6月～9月
自己課題 解決研修 （3日）	受講者ごとの自己課題解決に資する研修 ○ 自己課題に対応した研修	6月～2月



受講者の課題に応じた研究計画の提出（7月）

《公立幼稚園》
所属長→市町村教育委員会→教育センター

《保育所、国・私立幼稚園》
所属長→教育センター

《公立幼稚園》	在籍園等研修（10日 主に授業期間中）
受講者ごとの課題に応じた効果的な研修を在籍園等で実施 A 研究保育、教材研究等を通じた研修 B 指導方法や教材に関する課題研究 C 教育センター等研修・在籍園等研修のまとめ（研修成果発表を園内で行うこと） ○ 在籍園等研修指導計画書（様式第3号）の作成・提出（8～9月） ※園長→市町村教育委員会→教育センター	

《公立幼稚園》
研修成果の評価（園長・教育委員会）年度末
○ 受講者ごとに再度、評価案A（様式第1号）に加筆評価し、研修成果報告書（様式第4号）、教育センター研修報告書を作成・提出 ※園長→市町村教育委員会→教育センター

《保育所、国・私立幼稚園》
研修成果の評価（所属長） 年度末
○ 受講者ごとに再度、評価案A（様式第1号）に加筆評価し、研修成果報告書（様式第3号）、教育センター研修報告書を作成・提出 ※所属長→教育センター

研修名	平成20年度 10年経験保育士・幼稚園教員研修 1期					
講座名・目的	〔10年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの〕【オープン講座】 ・学年経営を視野に入れた経営的資質の育成を図る。 〔子育て・家庭支援〕【オープン講座】 ・子育て・家庭支援の実践を基に所属の課題解決の方向性をさぐる。 〔教育・福祉法規、服務〕 ・教育・福祉法規について理解を深め、学年経営を視野に入れて保育実践に取り組むことのできる資質・専門性の向上を図る。					
研修期日・会場・日程	期日：6月24日（火） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 14:00 17:00					
	受付	オリエンテーション	《講義》 10年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの	昼食	《実践発表》 オープン② 子育て・家庭支援	《講義》 教育・福祉法規・服務
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・幼稚園教育指導資料第1集「指導計画の作成と保育の展開」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第2集「家庭との連携を図るために」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第3集「幼児理解と評価」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第4集「一人一人に応じるために」 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省					
研修概要	・10年経験保育士・幼稚園教員として必要な幼児理解を深め、学年経営を視野に入れた実践力向上のため講義を行う。 ・子育て・家庭支援への理解を深めるための実践発表から園の課題を考察する。 ・教育法規・福祉法規、服務について講義を行う。					

研修名	平成２０年度　１０年経験保育士・幼稚園教員研修　２期		
講座名・目的	〔カウンセリングマインドを生かした保育〕 ・保育に生かすカンファレンスについて理解を深め、保育改善の推進者としての力量を高める。 〔受講者の課題に応じた研修〕 ・個別の実践課題について研修を深め、保育改善の推進者としての指導力と実践力の向上を図る。		
研修期日・会場・日程	期日：７月２３日（水）　　　会場：高知県教育センター本館 9:30		

研修名	平成20年度 10年経験保育士・幼稚園教員研修 3期			
講座名・目的	〔園経営〕 ・危機管理、保護者への対応、第三者評価について理解を深めるとともに、学年経営を視野に入れた保育実践に取り組むことのできる資質・専門性の向上を図る。 〔受講者の課題に応じた研修〕 ・個別の実践課題について研修を深め、保育改善の推進者としての指導力と実践力の向上を図る。 〔広い視野の育成〕 ・園経営についての理解を深め、学年経営を視野に入れた経営的資質の育成を図る。			
研修期日・会場・日程	期日：8月5日（火） 会場：ウェルサンピア高知 9:30 12:00 13:00 14:30 17:00			
	受 付	《講義・研究協議》 園経営（危機管理、保護者への対応、第三者評価）	昼 食	《個人・グループ研究》 受講者の課題に応じた研修 《講義》 広い視野の育成
※公立小学校及び中学校並びに県立学校10年経験研修と合同開催（《講義》広い視野の育成）				
持参物				
研修概要	・危機管理・保護者への対応・第三者評価についての講義・研究協議を行う。 ・研究計画書に基づき、個別の課題に対してグループ研究・指導を行う。 ・保育所・幼稚園における今日的課題についての見識を深め、広い視野に立った考え方を身につけるための講義を行う。			

研修名	平成20年度 10年経験保育士・幼稚園教員研修 4期			
講座名・目的	〔特別支援教育〕 ・学年経営を視野に入れて障害児保育を推進できる資質・専門性の向上を図る。 〔情報倫理〕 ・情報倫理について理解を深め、学年経営を視野に入れた実践力の育成を図る。			
研修期日・会場・日程	期日：8月8日（金） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 17:00			
	受 付	《講義・研究協議》 特別支援教育	昼 食	《講義・演習》 情報倫理（教育の情報化、個人情報保護）
※公立小学校及び中学校並びに県立学校10年経験者研修と合同開催（午前中）				
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・幼稚園教育指導資料第3集「幼児理解と評価」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第4集「一人一人に応じるために」 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省			
研修概要	・障害児保育の中心的役割を果たすための実践的指導力について講義・研究協議を行う。 ・教育の情報化及び個人情報保護についての講義を行う。			

研修名	平成20年度 10年経験保育士・幼稚園教員研修 5期			
講座名・目的	[受講者の課題に応じた研修] ・個別の実践課題について研修を深め、保育改善の推進者としての指導力と実践力の向上を図る。			
研修期日・会場・日程	期日：8月14日（木） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 17:00			
	受 付	《個人・グループ研究》 受講者の課題に応じた研修	昼 食	《個人・グループ研究》 受講者の課題に応じた研修
持参物	・研究計画書写し ・各自の研究テーマに係る書籍・資料等			
研修概要	・研究計画書に基づき、個別の課題に対してグループ研究・指導を行う。			

研修名	平成20年度 10年経験保育士・幼稚園教員研修 6期			
講座名・目的	[幼児理解、カウンセリングマインドを生かした保育]【オープン講座】 ・保育に生かすカンファレンスについて理解を深め、指導力を育成する。 [幼児理解、道徳性の芽生えを培う保育]【オープン講座】 ・学年経営を視野に入れた道徳性の芽生えの推進に中核的役割を果たす実践力を育成する。			
研修期日・会場・日程	期日：8月26日（火） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 17:00			
	受 付	《講義・演習》 オープン③ 幼児理解、カウンセリングマインドを生かした保育	昼 食	《講義・研究協議》 オープン④ 幼児理解、道徳性の芽生えを培う保育
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省 ・幼稚園における道徳性の芽生えを培うための事例集（平成13年）文部科学省 ・幼児期から児童期への教育（平成17年）国立教育政策研究所			
研修概要	・カウンセリングマインドについて講義・演習を行う。 ・幼児理解に基づいて、道徳性の芽生えを培う保育の在り方について研究協議を行う			

研修名	平成20年度 10年経験保育士・幼稚園教員研修 7期		
講座名・目的	[幼児期からの人権教育] ・保育活動全体を通して人権教育を推進するための企画・実践力を高める。 [受講者の課題に応じた研修] ・個別の実践課題について研修を深め、保育改善の推進者としての指導力と実践力の向上を図る。		
研修期日・会場・日程	期日：9月25日（木） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:30 13:30 17:00		
	受付	《講義・演習》 幼児期からの人権教育	昼食 《個人・研究協議》 受講者の課題に応じた研修
持参物	・人権教育指導資料集（幼児教育編）「輝く えがお と」 高知県教育委員会 ・研究計画書写し ・各自の研究テーマに係る書籍・資料等		
研修概要	・人権教育の基礎と自尊感情及び人権感覚育成のための講義・演習を行う。 ・研究計画書に基づき、個別の課題に対して研究協議・指導を行う。		

1 研修前の提出物

事前提出物

公立幼稚園用

様式第1号 (教諭 幼稚園)

評価票 記載例

幼稚園名	〇〇〇町立〇〇幼稚園	園長名	土佐 高子 印
受講者番号	*教育センターで記入します	氏 名	大津 太郎

評価案 A

1 幼児の指導に関する評価項目			研修前評価	研修後評価
(1) 計画	①	園の教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の指導計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	チーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 環境の設定	①	幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	他学級との関係、自然環境、地域の特徴なども生かす保育の場の設定をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	季節、1日の流れなどの時間的要因も環境として捉えて、保育に生かすよう配慮している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	幼児の実際の活動に合わせ、環境を再構成している	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) 保育の方法・展開	①	個々の幼児の特性を理解し、担当の幼児同士の関係を的確に把握している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	温かい態度で受けとめることによって、幼児の緊張、不安をうまく解消している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築いている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	幼児と共に活動することを心から楽しんでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤	幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥	活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑦	幼児一人一人が大切にされるよう配慮している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑧	個々に応じた適切な援助を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
2 学級経営に関する評価項目				
(1) 学級経営	①	個々の幼児を学級の一員として大切にすることにより、幼児同士もお互いを大切にする学級になっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	施設・設備の安全管理、幼児への安全指導が万全である	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 保護者対応へ	①	家庭との連携が緊密で、個々の幼児について入園前や、家庭での生活の様子も把握し保育に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに子育ての相談相手となっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である	4 3 2 1	4 3 2 1

(3) 地 域 関 と 係	①	機会をとらえて地域の人に幼稚園を理解してもらうよう努力している	4 3 <u>2</u> 1	4 3 2 1
	②	地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある	4 3 <u>2</u> 1	4 3 2 1
	③	地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識をもっている	4 <u>3</u> 2 1	4 3 2 1
(4) 園 務	①	園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている	4 3 <u>2</u> 1	4 3 2 1
	②	園の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等においても建設的な発言をする	4 <u>3</u> 2 1	4 3 2 1
	③	必要に応じて園長などにきちんと報告、連絡、相談をしている	<u>4</u> 3 2 1	4 3 2 1
(5) 向 上 心	①	自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている	4 <u>3</u> 2 1	4 3 2 1
	②	園など職場が用意した研修機会に積極的に参加し、資質向上に努めている	4 <u>3</u> 2 1	4 3 2 1
	③	自主的に園外の研修等に参加し、研修成果を実践に生かしている	4 3 <u>2</u> 1	4 3 2 1

評価B

大項目	小項目	研修前 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 幼 児 の 指 導	(1)計画	3. 0	
	(2)環境設定	2. 8	
	(3)保育の方法・展開	3. 5	
2 学 級 経 営 等	(4)学級経営	3. 0	
	(5)保護者への対応	2. 7	
	(6)地域との関係	2. 3	
	(7)園務	3. 0	
	(8)向上心	2. 7	
得意分野	ピアノが得意であり歌やリズム遊びに生かしている。 絵本についての知識が豊富で、子どもをひきつける魅力ある読み語りができる。		
その他	誰に対しても温かい対応ができるため、もう少し積極的に保護者や地域との連携推進役になれるように努力してほしい。		

研修計画書 記載例

平成20年〇月〇日

教育委員会名	〇〇〇町教育委員会	幼稚園名	〇〇〇町立〇〇幼稚園
園長名	土佐 高子	受講者番号 氏名	10番 大津 太郎

		開催月日	研修名	選択・領域・内容等		
教育センター等研修（10日）	1期	6月24日（火）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・10年経験保育士に求められるもの ・子育て・家庭支援 ・教育・福祉法規、服務		
	2期	7月23日（水）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・カウンセリングマインドを生かした保育 ・受講者の課題に応じた研修		
	3期	8月5日（火）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・園経営（危機管理、保護者への対応、第三者評価） ・広い視野の育成 ・受講者の課題に応じた研修		
	4期	8月8日（金）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・特別支援教育 ・情報倫理		
	5期	8月14日（木）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・受講者の課題に応じた研修		
	6期	8月26日（火）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・幼児理解、カウンセリングマインド生かした保育 ・幼児理解、道徳性の芽生えを培う保育		
	7期	9月25日（木）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・幼児期からの人権教育 ・受講者の課題に応じた研修		
	自己課題解決研修	8	7月25日（金）	全国国公立幼稚園教育研究協議会	・実践発表・協議 ・講演	
		9	11月〇日（ ）	高知県国公立幼稚園教育研究会	・保育参観・協議（人間関係を深めるための環境構成と保育者の援助）	
10		2月〇日（ ）	〇〇大学附属幼稚園研究大会	・保育参観・協議		
在籍園等研修（10日）	項目ごとの日数		具体的な研修	日数	合計日数	実施予定日
		幼児の指導に関する研修	・研究保育及び協議（4日） ・教材研究（2日）	6日	10日	7月〇日 10月〇日 10月〇日 11月〇日 12月〇日 2月〇日
		学級経営に関する研修	・学級経営に関する事項（1日） ・特別支援教育（1日）	2日		6月〇日 9月〇日
		その他の研修	・保護者対応・地域連携について（カウンセリングマインド）	2日		11月〇日 12月〇日

在籍園等研修指導計画書 **記載例**

平成20年〇月〇日

教育委員会名	〇〇〇町教育委員会	幼稚園名	〇〇〇町立〇〇幼稚園
園長名	土佐 高子	受講者番号氏名	10番 大津 太郎

	月 日	研修内容	指導者名
1	6月〇日()	学級経営に関する事項について ・学年を視野に入れた教育課程や年間行事計画	高知 花代
2	7月〇日()	研究保育及び協議 ・指導案の提出・実践・協議・評価	高知 花代 及び園長
3	9月〇日()	特別支援教育について ・保育実践レポート	土佐 健太
4	10月〇日()	研究保育及び協議 ・指導案の提出・実践・協議・評価	高知 花代 及び園長
5	10月〇日()	教材研究 ・研究レポート	高知 花代
6	11月〇日()	教材研究 ・研究レポート	高知 花代
7	11月〇日()	保護者対応・地域連携について ・カウンセリングマインド	土佐 健太
8	12月〇日()	研究保育及び協議 ・指導案の提出・実践・協議・評価	高知 花代 及び園長
9	12月〇日()	保護者対応・地域連携について ・幼小連絡協議会への参加、連携の課題提起	土佐 健太 及び園長
10	2月〇日()	研究保育及び一年間のまとめ ・指導案の提出・実践・まとめ	高知 花代 及び園長

2 研修後の提出物

公立幼稚園用

様式第1号 (教諭 幼稚園)

* 研修前の記述に加筆したもので、研修成果報告書と共に提出のこと

評価票 記載例

幼稚園名	〇〇〇町立〇〇幼稚園	園長名	土佐 高子 印
受講者番号	10番	氏名	大津 太郎

評価案A

1 幼児の指導に関する評価項目			研修前評価	研修後評価
(1) 計画	①	園の教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の指導計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	チーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 環境の設定	①	幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	他学級との関係、自然環境、地域の特徴なども生かす保育の場の設定をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	季節、1日の流れなどの時間的要因も環境として捉えて、保育に生かすよう配慮している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	幼児の実際の活動に合わせ、環境を再構成している	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) 保育の方法・展開	①	個々の幼児の特性を理解し、担当の幼児同士の関係を的確に把握している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	温かい態度で受けとめることによって、幼児の緊張、不安をうまく解消している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築いている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	幼児と共に活動することを心から楽しんでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤	幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥	活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑦	幼児一人一人が大切にされるよう配慮している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑧	個々に応じた適切な援助を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1

2 学級経営に関する評価項目

(1) 学級経営	①	個々の幼児を学級の一員として大切にすることにより、幼児同士もお互いを大切にしている学級になっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	施設・設備の安全管理、幼児への安全指導が万全である	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 保護者対応へ	①	家庭との連携が緊密で、個々の幼児について入園前や、家庭での生活の様子も把握し保育に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに子育ての相談相手となっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である	4 3 2 1	4 3 2 1

(3) 地 域 関 と 係	①	機会をとらえて地域の人に幼稚園を理解してもらうよう努力している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識をもっている	4 3 2 1	4 3 2 1
(4) 園 務	①	園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	園の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等においても建設的な発言をする	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	必要に応じて園長などにきちんと報告、連絡、相談をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
(5) 向 上 心	①	自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	園など職場が用意した研修機会に積極的に参加し、資質向上に努めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	自主的に園外の研修等に参加し、研修成果を実践に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1

評価B

大項目	小項目	研修前 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 幼 児 の 指 導	(1)計画	3. 0	
	(2)環境設定	2. 8	
	(3)保育の方法・展開	3. 5	
2 学 級 経 営 等	(4)学級経営	3. 0	
	(5)保護者への対応	2. 7	
	(6)地域との関係	2. 3	
	(7)園務	3. 0	
	(8)向上心	2. 7	
得意分野	ピアノが得意であり歌やリズム遊びに生かしている。 絵本についての知識が豊富で、子どもをひきつける魅力ある読み語りができる。		
その他	誰に対しても温かい対応ができるため、もう少し積極的に保護者や地域との連携推進役になれるように努力してほしい。		

様式第4号

NO. 1 (幼)

研修成果報告書 記載例

平成21年3月〇日

教育委員会名	〇〇〇町教育委員会	幼稚園名	〇〇〇町立〇〇幼稚園
園長名	土佐 高子	受講者番号氏名	10番 大津 太郎

1 評価 (様式第1号評価案Aに研修後の評価を記入し添付すること)

大項目	小項目	研修前 評価 平均	研修後 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 幼児の 指導	(1)計画	3.0	3.5	幼児理解の深まりが、学年経営を視野に入れた指導計画や行事計画等に反映されるようになった。
	(2)環境設定	2.8	3.5	日々の環境設定から保育者の思いが伝わってくる。
	(3)保育の方法・展開	3.5	3.6	教材研究について、もう少し深まりがほしい。
2 学級 経営 等	(1)学級経営	3.0	3.5	学級経営のみならず、学年経営も視野に入れた計画がスムーズにできるようになった。
	(2)保護者への対応	2.7	3.0	積極的に保護者に関わる姿が見られるようになってきた。
	(3)地域との関係	2.3	3.0	少しずつではあるが、地域の方に幼稚園を知ってもらったための取り組みが見られだした。
	(4)園務	3.0	3.3	報告・連絡・相談がしっかりとできる。 園全体の業務の把握や参画を期待したい。
	(5)向上心	2.7	3.0	自分から、研修会に参加したりして学習意欲が高まった。
得の意伸分野等		- 得意のピアノを活用し、保護者のコーラスグループに参加したりして保護者連携に力を発揮するようになった。 - 園の行事等で絵本の読み聞かせを取り入れたり、絵本コーナーを新設したりするなど、絵本の活用について保護者にも働きかけている。		
所感	園長	10年経験教員としての立場を自覚し、園全体の行事や取り組みの話し合いの中でも意欲的に意見を述べるようになり、活動の中心として取り組んで行こうとする姿が見られるようになってきている。今後は地域連携の推進に力をつけて欲しいと願っている。		
	教育長	本研修を受講し、地域の幼稚園としての役割について考えられるようになってきた。子どもの保育にだけ集中していた思いが、地域に向けられた事は大きな成果だと感じている。		

2 教育センター等研修報告書

NO. 2 (幼)

		開催月日	研修名	選択・領域・内容等	
教育センター等研修（10日）	1期	6月24日（火）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・10年経験保育士に求められるもの ・子育て・家庭支援 ・教育・福祉法規、服務	
	2期	7月23日（水）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・カウンセリングマインドを生かした保育 ・受講者の課題に応じた研修	
	3期	8月5日（火）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・園経営（危機管理、保護者への対応、第三者評価） ・広い視野の育成 ・受講者の課題に応じた研修	
	4期	8月8日（金）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・特別支援教育 ・情報倫理	
	5期	8月14日（木）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・受講者の課題に応じた研修	
	6期	8月26日（火）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・幼児理解、カウンセリングマインド生かした保育 ・幼児理解、道徳性の芽生えを培う保育	
	7期	9月25日（木）	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・幼児期からの人権教育 ・受講者の課題に応じた研修	
	自己課題解決研修	8	7月25日（金）	全国国公立幼稚園 教育研究協議会	・実践発表・協議 ・講演
		9	11月〇日（ ）	高知県国公立幼稚園 教育研究会	・保育参観・協議（人間関係を深めるための環境構成と保育者の援助）
		10	2月〇日（ ）	〇〇幼稚園研究会	・保育参観・協議

3 在籍園等研修報告書

NO. 3 (幼)

	月 日	研修内容	指導者名
1	6月○日()	学級経営に関する事項について ・学年を視野に入れた教育課程や年間行事計画	高知 花代
2	7月○日()	研究保育及び協議 ・指導案の提出・実践・協議・評価	高知 花代 及び園長
3	9月○日()	特別支援教育について ・保育実践レポート	土佐 健太
4	10月○日()	研究保育及び協議 ・指導案の提出・実践・協議・評価	高知 花代 及び園長
5	10月○日()	教材研究 ・研究レポート	高知 花代
6	11月○日()	教材研究 ・研究レポート	高知 花代
7	11月○日()	保護者対応・地域連携について ・カウンセリングマインド	土佐 健太
8	12月○日()	研究保育及び協議 ・指導案の提出・実践・協議・評価	高知 花代 及び園長
9	12月○日()	保護者対応・地域連携について ・幼小連絡協議会への参加、連携の課題提起	土佐 健太 及び園長
10	2月○日()	研究保育及び一年間のまとめ ・指導案の提出・実践・まとめ	高知 花代 及び園長

1 研修前の提出物

様式第1号 (保育士・教諭 保育所、国・私立幼稚園)

 評価票 記載例

保育所・幼稚園名	(〇〇町立) 〇〇保育所 (幼稚園)	所長・園長名	土佐 高子 印
受講者番号	*教育センターで記載します	氏 名	大津 健太

評価案A

1 乳幼児の指導に関する評価項目			研修前評価	研修後評価
(1) 計画	①	園の保育目標や教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の保育計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	個々の乳幼児の理解と発達状況に対応した保育計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに保育者間で話し合い、次の保育計画に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	チーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い保育計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 環境の設定	①	乳幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	他学級との関係、自然環境、地域の特徴なども生かす保育の場の設定をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	季節、1日の流れなどの時間的要因も環境として捉えて、保育に生かすよう配慮している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	乳幼児の実際の活動に合わせ、環境を再構成している	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) 保育の方法・展開	①	個々の乳幼児の特性を理解し、担当の乳幼児同士の関係を的確に把握している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	温かい態度で受けとめることによって、乳幼児の緊張、不安をうまく解消している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築いている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	乳幼児と共に活動することを心から楽しんでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤	乳幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥	活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑦	乳幼児一人一人が大切にされるよう配慮している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑧	個々に応じた適切な援助を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1
2 学級経営に関する評価項目				
(1) 学級経営	①	個々の乳幼児を学級の一員として大切にすることにより、乳幼児同士もお互いを大切にしている学級になっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	施設・設備の安全管理、乳幼児への安全の指導が万全である	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 保護者対応へ	①	家庭との連携が緊密で、個々の乳幼児について入園前や、家庭での生活の様子も把握し保育に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに子育ての相談相手となっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である	4 3 2 1	4 3 2 1

(3) 地 域 関 と 係	①	機会をとらえて地域の人に保育所・幼稚園を理解してもらうよう 努力している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識を もっている	4 3 2 1	4 3 2 1
(4) 園 務	①	園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	園の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等におい ても建設的な発言をする	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	必要に応じて所属長などにきちんと報告、連絡、相談をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
(5) 向 上 心	①	自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	園など職場が用意した研修機会に積極的に参加し、資質向上に努 めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	自主的に園外の研修等に参加し、研修成果を実践に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1

評価B

大 項 目	小 項 目	研修前 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 乳 幼 児 の 指 導	(1)計画	2. 5	
	(2)環境設定	2. 5	
	(3)保育の方 法・展開	3. 4	
2 学 級 経 営 等	(1)学級経営	3. 5	
	(2)保護者へ の対応	3. 3	
	(3)地域との 関係	3. 3	
	(4)園務	3. 3	
	(5)向上心	3. 3	
得意分野	子どもが興味を持ったものやおもちゃを短時間で作り、遊びの展開を援助することができる。 一人一人の子どもについて保護者と相談しながら保育を進めるなど、家庭との連携を図って いる。		
その他	リーダーシップがあり、何事にも率先して取り組もうとする積極性が感じられる。		

様式第2号 (保育士・教諭 保育所、国・私立幼稚園)

 研修計画書 記載例

平成20年〇月〇日

保育所・幼稚園名	(〇〇町立) 〇〇保育所 (幼稚園)		
所長・園長名	土佐 高子	受講者番号 氏名	10番 大津 健太

		開催月日	研修名	選択・領域・内容等
教育センター等研修 (10日)	1期	6月24日(火)	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・10年経験保育士に求められるもの ・子育て・家庭支援 ・教育・福祉法規、服務
	2期	7月23日(水)	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・カウンセリングマインドを生かした保育 ・受講者の課題に応じた研修
	3期	8月5日(火)	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・園経営(危機管理、保護者への対応、第三者評価) ・広い視野の育成 ・受講者の課題に応じた研修
	4期	8月8日(金)	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・特別支援教育 ・情報倫理
	5期	8月14日(木)	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・受講者の課題に応じた研修
	6期	8月26日(火)	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・幼児理解、カウンセリングマインド生かした保育 ・幼児理解、道徳性の芽生えを培う保育
	7期	9月25日(木)	10年経験保育士 ・幼稚園教員研修	・幼児期からの人権教育 ・受講者の課題に応じた研修
	自己課題解決研修	8 11月〇日()	保育所乳児保育担当者研修会	・平成20年度保育所乳児保育担当者研修会(厚労省)
		9 11月〇日()	保育所乳児保育担当者研修会	・平成20年度保育所乳児保育担当者研修会 乳児の環境整備・乳児保育の指導計画
		10 11月〇日()	保育所乳児保育担当者研修会	・平成20年度保育所乳児保育担当者研修会 乳児保育の展開・特別講演

2 研修後の提出物 様式第1号（保育士・教諭 保育所、国・私立幼稚園）

＊研修前の記述に加筆したもので、研修成果報告書と共に提出のこと

 評価票 記載例

保育所・幼稚園名	(〇〇町立) 〇〇保育所（幼稚園）	所長・園長名	土佐 高子 印
受講者番号	10番	氏名	大津 健太

評価案A

1 乳幼児の指導に関する評価項目			研修前評価	研修後評価
(1) 計画	①	園の保育計画や教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の指導計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	個々の乳幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに保育者間で話し合い、次の指導計画に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	ティーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 環境の設定	①	乳幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	他学級との関係、自然環境、地域の特徴なども生かす保育の場の設定をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	季節、1日の流れなどの時間的要因も環境として捉えて、保育に生かすよう配慮している	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	乳幼児の実際の活動に合わせ、環境を再構成している	4 3 2 1	4 3 2 1
(3) 保育の方法・展開	①	個々の乳幼児の特性を理解し、担当の乳幼児同士の関係を的確に把握している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	温かい態度で受けとめることによって、乳幼児の緊張、不安をうまく解消している	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築いている	4 3 2 1	4 3 2 1
	④	乳幼児と共に活動することを心から楽しんでいる	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑤	乳幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑥	活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑦	乳幼児一人一人が大切にされるよう配慮している	4 3 2 1	4 3 2 1
	⑧	個々に応じた適切な援助を行っている	4 3 2 1	4 3 2 1

2 学級経営に関する評価項目

(1) 学級経営	①	個々の乳幼児を学級の一員として大切にすることにより、乳幼児同士もお互いを大切にしている学級になっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	施設・設備の安全管理、乳幼児への安全の指導が万全である	4 3 2 1	4 3 2 1
(2) 保護者対応へ	①	家庭との連携が緊密で、個々の乳幼児について入園前や、家庭での生活の様子も把握し保育に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	保護者と話をする機会をできるだけ設け、保育に生かすとともに子育ての相談相手となっている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である	4 3 2 1	4 3 2 1

(3) 地 域 関 と 係	①	機会をとらえて地域の人に保育所・幼稚園を理解してもらうよう 努力している	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識を もっている	4 3 2 1	4 3 2 1
(4) 園 務	①	園全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	園の運営について自分のこととして常に考え、職員会議等におい ても建設的な発言をする	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	必要に応じて所属長などにきちんと報告、連絡、相談をしている	4 3 2 1	4 3 2 1
(5) 向 上 心	①	自分の保育の評価を的確に行い、改善を図っている	4 3 2 1	4 3 2 1
	②	園など職場が用意した研修機会に積極的に参加し、資質向上に努 めている	4 3 2 1	4 3 2 1
	③	自主的に園外の研修等に参加し、研修成果を実践に生かしている	4 3 2 1	4 3 2 1

評価B

大 項 目	小 項 目	研修前 評価 平均	研修後 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 乳 幼 児 の 指 導	(1)計画	2. 5	3. 5	
	(2)環境設定	2. 5	3. 5	
	(3)保育の方法 ・展開	3. 4	3. 6	
2 学 級 経 営 等	(1)学級経営	3. 5	3. 5	
	(2)保護者への 対応	3. 3	3. 7	
	(3)地域との関 係	3. 3	3. 3	
	(4)園務	3. 3	3. 7	
	(5)向上心	3. 3	3. 7	
得意分野	子どもが興味を持ったものやおもちゃを短時間で作り、遊びの展開を援助することができる。 一人一人の子どもについて保護者と相談しながら保育を進めるなど、家庭との連携を図って いる。			
その他	リーダーシップがあり、何事にも率先して取り組もうとする積極性が感じられる。			

研修成果報告書 記載例

平成21年3月〇日

保育所・幼稚園名	(〇〇町立) 〇〇保育所 (幼稚園)		
所長・園長名	土佐 高子	受講者番号 氏名	10番 大津 健太

1 評価 (別表1 評価案Aに研修後の評価を記入し添付すること)

大項目	小項目	研修前 評価 平均	研修後 評価 平均	研修成果、今後の研修課題、伸長等の状況
1 乳 幼 児 の 指 導	(1)計画	2.5	3.5	園の課題として職員全体の取り組みとした。
	(2)環境設定	2.5	3.5	安定する環境や育ちのための手作り遊具の製作を手がけている。
	(3)保育の方法・展開	3.4	3.6	育ちに見通しをもった保育が展開できるようになった。
2 学 級 経 営 等	(1)学級経営	3.5	3.5	複数担任の利点を生かした保育を心がけている。
	(2)保護者への対応	3.3	3.7	積極的に連携しようと努力している。
	(3)地域との関係	3.3	3.3	
	(4)園務	3.3	3.7	少しずつではあるが、園全体のまとめ役としての自覚がなされている。
	(5)向上心	3.3	3.7	他園の方々からの刺激をうけ、積極性が顕著にみられる。
得 意 伸 分 長 野 等	製作した遊具の活用のみでなく、発達に合った遊具や環境構成を考えた保育ができるようになっていく。 クラス便りで遊具の作り方や子育てのポイントなどを知らせたり、個別に懇談したりして保護者との連携に取り組んでいる。			
所 長 ・ 感 園 長	本研修を受講したことで、自園全体の保育計画の見直しを提案したりして、具体的な取り組みがなされた。また、保育のための環境構成について研究することができ、本人にとっては意義深い研修であったと推察される。さらに、国の動向や園経営をも学び、他園の先生方から多大な刺激をもらったようである。 園内での研究保育を通して、職員からの指摘や励ましもあり、自分の保育を見直す良い機会であったと考える。持ち前の積極性で、よく頑張ってくれた。 園の保育のリーダーになりうる自信もついたのでないかと感じている。			

2 教育センター等研修報告書

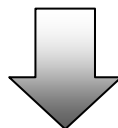
NO. 2 (保・幼)

		開催月日	研修名	選択・領域・内容等
教育センター等研修 (10日)	1期	6月24日(火)	10年経験保育士・幼稚園教員研修	・10年経験保育士に求められるもの ・子育て・家庭支援 ・教育・福祉法規、服務
	2期	7月23日(水)	10年経験保育士・幼稚園教員研修	・カウンセリングマインドを生かした保育 ・受講者の課題に応じた研修
	3期	8月5日(火)	10年経験保育士・幼稚園教員研修	・園経営(危機管理、保護者への対応、第三者評価) ・広い視野の育成 ・受講者の課題に応じた研修
	4期	8月8日(金)	10年経験保育士・幼稚園教員研修	・特別支援教育 ・情報倫理
	5期	8月14日(木)	10年経験保育士・幼稚園教員研修	・受講者の課題に応じた研修
	6期	8月26日(火)	10年経験保育士・幼稚園教員研修	・幼児理解、カウンセリングマインド生かした保育 ・幼児理解、道徳性の芽生えを培う保育
	7期	9月25日(木)	10年経験保育士・幼稚園教員研修	・幼児期からの人権教育 ・受講者の課題に応じた研修
	自己課題解決研修	8 11月〇日()	保育所乳児保育担当者研修会	・平成20年度保育所乳児保育担当者研修会(厚労省)
		9 11月〇日()	保育所乳児保育担当者研修会	・平成20年度保育所乳児保育担当者研修会 乳児の環境整備・乳児保育の指導計画
		10 11月〇日()	保育所乳児保育担当者研修会	・平成20年度保育所乳児保育担当者研修会 乳児保育の展開・特別講演

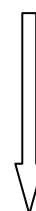
4 15年経験保育士・幼稚園教員研修

15年経験保育士・幼稚園教員研修のイメージ

研修対象者の調査・受講者の決定	3月～4月
○ 研修対象者の調査 ○ 受講者の決定（研修効果、園運営への影響等考慮）	



教育センター研修（3日）		6月～1月
経営的資質	○ 15年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの ○ 初任者指導のあり方	
教育・福祉法規	○ 保育の動向と課題	
保育指導	○ 乳幼児理解と保育計画 ○ 子育て・家庭支援 ○ 連携教育 ○ 研究の成果と課題	
障害児保育 乳児保育	○ 障害児保育の実際	
豊かな心を育む保育	○ 幼児期からの人権教育	



研究計画書提出
（8月）
研究レポート提出
（12月～1月）

《公立幼稚園》
所属長→市町村
教育委員会→教
育センター

《保育所、国・
私立幼稚園》
所属長→教育セ
ンター

研修名	平成20年度 15年経験保育士・幼稚園教員研修 1期						
講座名・目的	[保育の動向と課題] 【オープン講座】 ・教育・福祉法規や、保育を取り巻く国、県の取り組み状況の理解を深める。 [幼児理解と保育の計画] 【オープン講座】 ・指導的立場で全園的な視野にたった保育の計画を作成し、取り組むことができる実践力の向上を図る資質を育成する。 [幼児期からの人権教育] 【オープン講座】 ・人権教育の視点から保育活動全体を捉えるとともに、人権教育に関して園における指導的役割を果たすことのできる資質・専門性を育成する。 [研究について] ・幼児理解と評価の基礎的手法について理解を深め、保育実践の指導力を育成する。						
研修期日・会場・日程	期日：6月17日（火） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 16:00 17:00						
	受付	オリエンテーション	《講義》 オープン① 保育の動向と課題	《講義》 オープン② 乳幼児理解と保育の計画	昼食	《講義》 オープン③ 幼児期からの人権教育	《講義》 研究について
持参物	・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・幼稚園教育指導資料第1集「指導計画の作成と保育の展開」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第2集「家庭との連携を図るために」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第3集「幼児理解と評価」 文部省 ・幼稚園教育指導資料第4集「一人一人に応じるために」 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省 ・人権教育指導資料集（幼児教育編）「輝く えがお と」 高知県教育委員会						
研修概要	・保育における国・県の取り組み、保育を取り巻く状況を理解し、園経営の課題を明らかにする講義を行う。 ・乳幼児の実情に応じた保育計画の作成、保育実践記録のあり方の講義を行う。 ・人権教育の指導的役割を果たすための講義を行う。 ・研究の手法を学び、研究を通して保育の実践的指導力を育成するための講義を行う。						

研修名	平成20年度 15年経験保育士・幼稚園教員研修 2期				
講座名・目的	〔連携教育〕【オープン講座】 ・指導的立場で連携教育に取り組むことのできる資質・専門性を育成する。 〔保育所の子育て・家庭支援〕 【オープン講座】 ・子育て・家庭支援の実践を基に所属の課題解決の方向性をさぐる。 〔15年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの〕 【オープン講座】 ・学年経営を視野に入れた経営的資質を充実する。				
研修期日・会場・日程	期日：9月19日（金） 会場：高知県教育センター本館 9:30 10:30 12:00 13:00 14:00 17:00				
	受 付	《実践発表》 オープン④ 保育所の子育て・家庭支援	《講義・研究協議》 オープン⑤ 15年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの	昼 食	《研究協議》 オープン⑤ 15年経験保育士・幼稚園教員に求められるもの 《講義・研究協議》 オープン⑥ 連携教育
持参物	・研究計画書写し ・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・幼稚園教育指導資料第2集「家庭との連携を図るために」 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省				
研修概要	・連携教育の推進役として課題の把握や取組の方向性について講義・研究協議を行う。 ・子育て・家庭支援への理解を深めるための実践発表から園の課題を考察する。 ・15年経験保育者に求められる指導力充実のための研究協議を行う。				

研修名	平成20年度 15年経験保育士・幼稚園教員研修 3期				
講座名・目的	〔初任者指導のあり方〕 ・学年経営を視野に入れた初任者への実践的指導力を育成する。 〔障害児保育の実際〕 ・全園的な視野で乳児保育を捉え、保育実践及び研究推進できる資質を育成する。 〔研究の成果と課題について〕 ・保育実践に生かす幼児理解と評価について理解を深め、実践的指導力の充実を図る。				
研修期日・会場・日程	期日：1月30日（金） 会場：高知県教育センター本館 9:30 12:00 13:00 17:00				
	受 付	《講義》 初任者指導のあり方	《実践報告》 障害児保育の実際	昼 食	《実践報告・研究協議》 研究の成果と課題 閉 会 式
持参物	・研究レポート・関係資料等 ・幼稚園教育要領解説（平成11年） 文部省 ・保育所保育指針（平成11年） 厚生省				
研修概要	・初任者指導のあり方について指導育成のための講義を行う。 ・障害児保育の理解を深める講義を行う。 ・保育実践の指導力の充実ために、研究レポート等を通して幼児理解と評価の手法について、研究協議を行う。				

Ⅳ 受講に関する事項

1 受講者の心得

- (1) 研修時間に遅れないように余裕をもって参加すること。
- (2) 研修中は担当者の指示に従って行動すること。
- (3) 研修中は常に名札を着用のこと。
- (4) 提出物の締め切り期限を守ること。

2 事務連絡事項

- (1) 研修には「幼保研修 基本研修の概要」と「幼保研修の手引き」及び指示された持参物等を持参してください。
- (2) 研修室内外の整理整頓（机・いすをもとの状態に戻す等）をしてください。
- (3) 研修中の交通安全等には十分留意してください。（会場によっては駐車場が限られています。教育センター分館においては、他の研修と重なり駐車場が混み合うことがあり、原則として研修終了までは車の移動ができません。）
- (4) 異常気象による研修の情報については、教育センターのホームページ及び携帯サイトで配信しています。

教育センターホームページ <http://www.kochinet.ed.jp/center/>

教育センター携帯サイト <http://www.kochinet.ed.jp/center/keitai.html>

3 欠席等の場合

教育センターでの研修において、病気等やむを得ない理由で欠席する場合は、所属長に報告したうえで、欠席届を規定の方法を経て教育センター所長に提出してください。（欠席届記載例を参照）

《公 立 幼 稚 園》 ■本人→所属長→市町村教育委員会→教育センター所長

《保育所、国・私立幼稚園》 ■本人→所属長→教育センター所長

なお、受講当日にやむを得ない理由により出席できなくなった場合は、所属長に報告して教育センター担当に電話等で連絡し、後日欠席届を規定の方法で提出してください。

* 公立幼稚園の方で^{しっかい}悉皆研修を欠席した場合は、代替措置として該当研修に相当する課題レポート等を提出していただきます。

欠席届 記載例

用紙サイズは A4・縦

欠 席 届

高知県教育センター所長 様

研修名（平成20年度〇〇保育士・幼稚園教員研修）

下記の理由により標記の研修

（平成20年〇月〇日）を欠席させていただきますので、お届けします。

理由

体調不良のため

平成20年〇月〇日

〇〇町立〇〇幼稚園教諭 高知 太郎 印

副 申 書

上記の理由により欠席は、やむを得ないものと認めます。

平成20年〇月〇日

〇〇町立〇〇幼稚園長 土佐 高子 印

園長の副申のとおり欠席は、やむを得ないものと認めます。

平成20年〇月〇日

〇〇町教育委員会

教育長 大津 教子 印

欠席届 **参考例**

＊各所属の様式で可・下記は参考

欠 席 届

用紙サイズは A4 ・ 縦

高知県教育センター所長 様

研修名（平成20年度〇〇保育士・幼稚園教員研修）

下記の理由により標記の研修

（平成20年〇月〇日）を欠席させていただきますので、お届けします。

欠席者

保育士（教諭） 土佐 太郎

理 由

体調不良のため

平成20年〇月〇日

（〇〇町立）〇〇保育所 所長（幼稚園 園長） 高知 教子 印

V 資料

研究計画書 記載例

研修名 ○○保育士・幼稚園教員研修
保育所（幼稚園）名 ○○保育所（幼稚園）
担 当 ○歳児・○○組
氏 名 大津 一郎

1 保育所（幼稚園）の研究主題

幼児の主体的な活動を確保するための環境構成のあり方

2 研究テーマ

幼児一人一人の心の動きにそった環境構成について

3 テーマ設定の理由

園内研修を通して、環境の大切さや教師の役割について学んだことで、教師のあり方について深く考える機会を得た。環境構成の方法と教師の援助について、さらに研究したいと考える。

4 研究の対象

○歳児・○○組（女児：○名、男児：○名）

5 具体的な研究の方法

- ・ 保育観察を通して、課題について指導教員・教頭・園長などに指導していただく。
- ・ 事例研究や場面において考察する。
- ・ 教職員間で保育カンファレンスを行い、研究の資料にする。
- ・ 園内研修を通して、テーマに沿った内容をまとめる。

研究レポート 記載例

【サイズは A4 で両面刷り】

【40字×40行で書いてください。手書き可。】

【枚数は2枚。空白は上下左右20mm】

【子どもの絵や写真等を入れる場合は、保護者の同意を得る等、個人情報保護に留意してください。】

【提出する際には、所属長のコメントを入れてください。】

《記入例》

平成20年度〇〇保育士・幼稚園教員研修 研究レポート

テーマ

〇〇保育所（幼稚園）
担当 〇〇歳児・〇〇組
保育士（教諭）大津 花子

1 研究にあたって

2 研究の方法

3 実践

4 今後の課題

平成 20 年 3 月

高知県教育センター

〒781-5103

高知市大津乙181

電話 (088) 866-3890

ファックス (088) 866-0074

幼保研修担当 (直通)

電話 (088) 866-3894

ホームページ : <http://www.kochinet.ed.jp/center/>